

平成22(2010)年度

私たちの村の予算

～ 村民との協働のむらづくりを目指して ～



佐井村

平成22年度は、こんな事業を進めます

1. 原田・矢越地区集会施設の指定管理者制度導入
2. 子育て支援事業（乳幼児・児童医療費給付事業、子ども手当の支給）
3. 保育所及び高齢者生活福祉センター「あすなろ」の指定管理者制度導入
4. 保育所バス及び佐井中学校スクールバス整備事業
5. 天然記念物二ホンザル食害対策電気柵設置工事（原田地区）
6. トド・クラゲ被害対策（漁網などの被害に対する利子補給）
7. 仏ヶ浦駐車場看板整備事業
8. 佐井漁港防波堤壁画事業
9. 漁港整備事業（福浦漁港船揚場などの整備）
10. 福浦川目線整備事業（用地購入・立木補償）
（平成21年度から繰越した事業）
 1. 地域情報通信基盤整備事業（村内全域に光ケーブルを敷設、告知端末設置）
 2. 携帯電話エリア整備事業（川目地区）
 3. アルサス改修事業（トイレの洋式化など）
 4. 村道糠森臨港線・川磯線の舗装や側溝の改良整備事業
 5. 川目・原田地区生活改善センター改修事業
 6. 寿荘・旧消防庁舎の解体及び旧保育所の改修事業
 7. ケビンハウス・森林体験館・歌舞伎の館の塗装及び修繕事業
 8. 村営住宅の下水道接続及び教員住宅の水洗化事業
 9. 簡易水道施設改修事業（侵入防止柵などの改良）

データで見る佐井村の予算

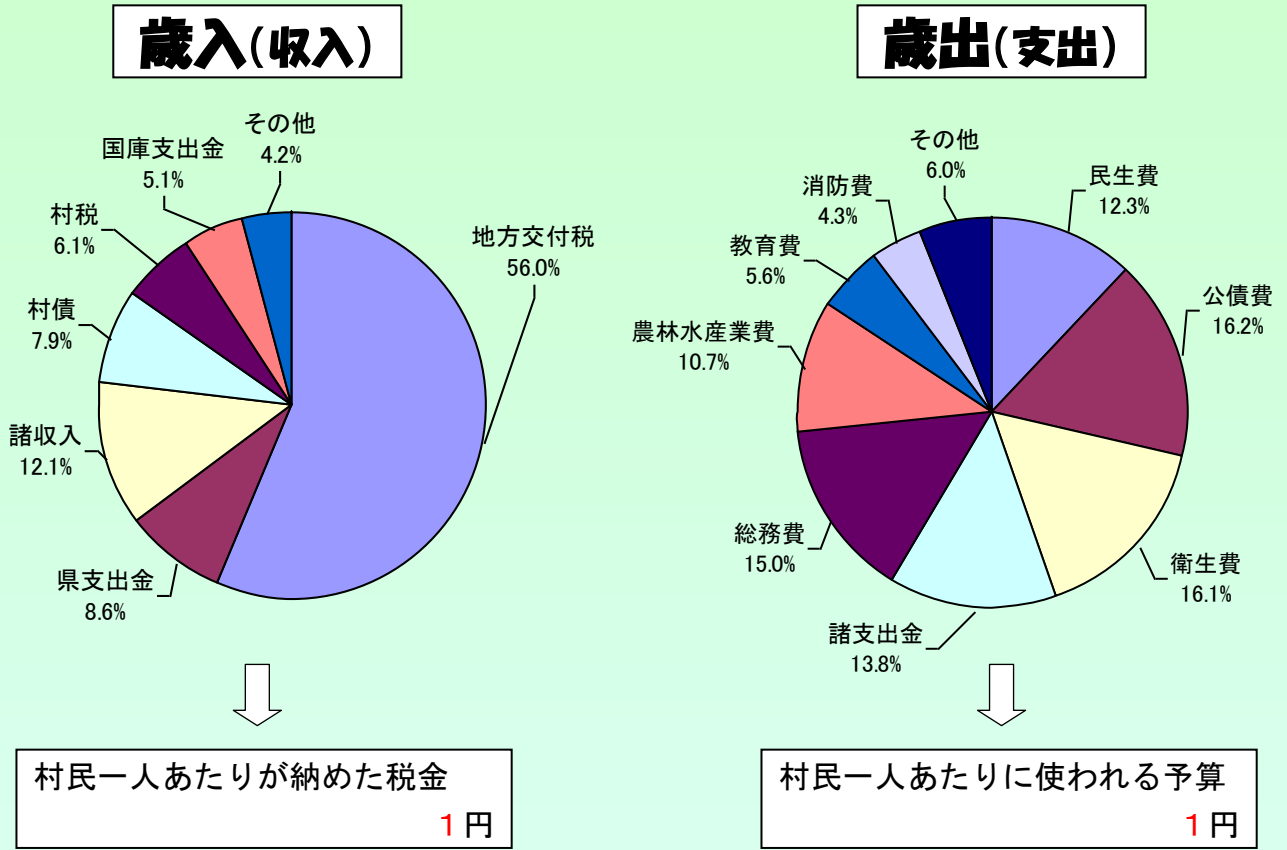
平成22年度の予算総額は、

33億4,993万3千円 です。

区 分	22年度予算額	21年度予算額	増減額	
一 般 会 計	24億1,632万1千円	29億 544万8千円	△4億8,912万7千円	
特 別 会 計	簡易水道事業	8,353万9千円	1億3,928万5千円	△5,574万6千円
	下水道事業	1億5,902万5千円	1億8,263万4千円	△2,360万9千円
	国民健康保険事業	4億1,959万2千円	4億1,027万3千円	931万9千円
	老人保健	60万7千円	558万2千円	△497万5千円
	介護保険	2億4,451万3千円	2億7,150万7千円	△2,699万4千円
	後期高齢者医療	2,633万6千円	2,862万5千円	△228万9千円
合 計	33億4,993万3千円	39億4,335万4千円	△5億9,342万1千円	

一般会計

一般会計は、村の予算の中心となるもので、福祉、教育、道路、漁港の整備などのお金は、この財布から出し入れしています。

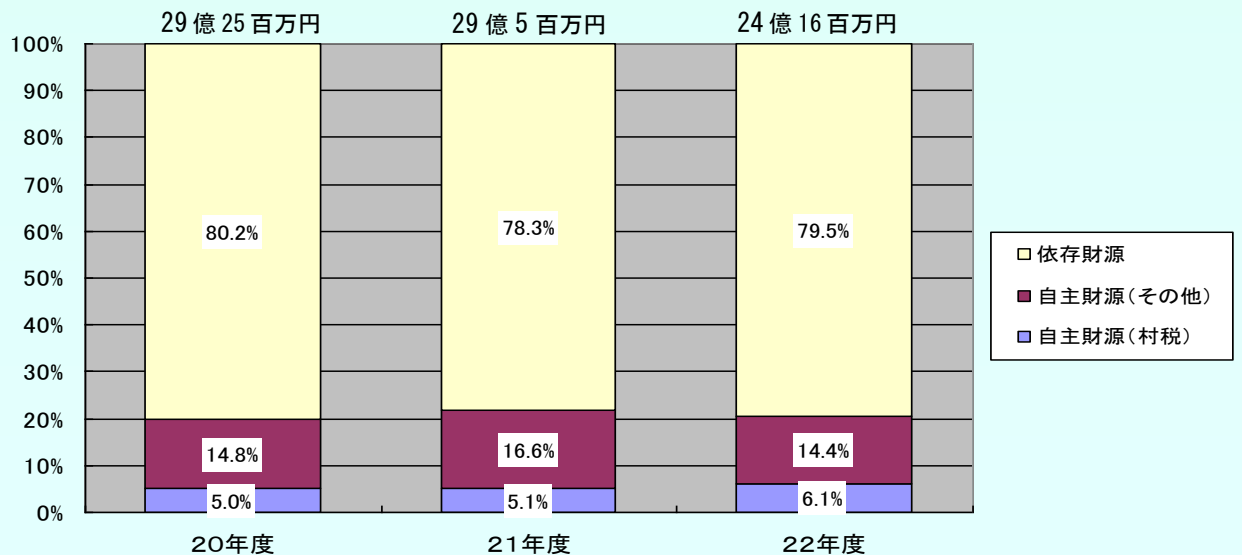


※平成 22 年 3 月 1 日現在の住基人口（1人）で算出

◇自主財源と依存財源

村の歳入（＝収入）のより所を財源といい、このうち税金のように村が自分で集めるものを自主財源、国や県からもらう補助金などを依存財源といいます。

自主財源の割合が高ければ、それだけ自主的、安定的に事業が進められますが、人口が減少傾向にあり、大きな企業がない当村にとっては、自主財源の確保が課題となっています。



特別会計

村には、一般会計のほかに、特別会計があります。

特別会計は、決まった仕事について、財布を別にしてお金の出し入れをはっきりさせるもので、次の6つの特別会計があります。

簡易水道事業特別会計

8,353万9千円

住民の日常生活に欠くことのできない水道について、4地区（佐井、長後、福浦、牛滝）の簡易水道施設の適正な維持管理に努め、安定した飲料水の供給に努めていきます。

歳入

水道使用料等	4,010万1千円
一般会計からの繰入金	4,343万8千円

歳出

施設の維持管理費等	2,349万3千円
借入金の返済（公債費）	5,984万6千円
その他	20万0千円

業務の予定量

給水戸数	1,202戸
年間総配水量	32万2,531m ³
1m ³ の水の給水原価	412.62円
1m ³ の水の供給単価	187.24円



下水道事業特別会計

1億5,902万5千円

生活雑排水等の河川、海などへの流入による水質悪化を防ぎ、側溝や水路の改善による衛生的な住環境、水洗化による清潔で快適な生活スタイルを進め、美しく豊かな自然を守り、潤いのある快適な生活を創造するため、下水道施設の維持管理（5施設）に努めていきます。

歳入

下水道使用料等	1,097万4千円
一般会計からの繰入金	8,215万1千円
借入金（村債）	6,490万0千円
その他	100万0千円

歳出

施設の維持管理費等	4,277万7千円
借入金の返済（公債費）	1億1,584万8千円
その他	40万0千円

整備の状況

- 牛滝地区漁業集落排水処理事業
 - 平成9年供用開始 加入率 95%（H22.2末）
- 福浦地区漁業集落排水処理事業
 - 平成13年供用開始 加入率 85%（H22.2末）
- 長後地区漁業集落排水処理事業
 - 平成14年供用開始 加入率 57%（H22.2末）
- 磯谷地区漁業集落排水処理事業
 - 平成17年供用開始 加入率 51%（H22.2末）
- 佐井地区特定環境保全公共下水道事業
 - 平成21年供用開始 加入率 17%（H22.2末）

供用開始後2年以内に下水道へ接続する場合は水洗便所改造資金の利子補給を受ける事ができます。

※平成19年から一部供用開始

国民健康保険事業特別会計

4億1,959万2千円

病気やケガのときに必要な保険給付などを通して、みなさんの健康を支える制度です。

歳入

国民健康保険税	1億	10万8千円
県や国からの補助	1億6,706万8千円	
高額医療費共同事業交付金	4,441万6千円	
前期高齢者交付金	7,297万0千円	
一般会計からの繰入金	3,124万8千円	
その他		378万2千円

歳出

保険給付費	2億7,364万2千円
後期高齢者支援金等	5,389万0千円
介護納付金	2,025万3千円
共同事業拠出金	5,225万8千円
その他	1,954万9千円



老人保健特別会計

60万7千円

高齢者の方が、安心して医療を受けられるようにするための制度です。

歳入

支払基金交付金	28万5千円
国や県からの補助	22万5千円
一般会計からの繰入金など	9万7千円

歳出

医療給付費など	55万5千円
その他	52千円



介護保険特別会計

2億4,451万3千円

40歳以上の方が被保険者となって保険料を納め、介護が必要となったときには、介護予防サービスや介護サービスを利用できるように保険給付などを行うものです。

歳入

保険料	3,369万3千円
国や県からの補助	9,952万8千円
支払基金交付金	6,975万5千円
一般会計からの繰入金	4,028万9千円
その他	124万8千円

歳出

保険給付費	2億3,098万9千円
地域支援事業費	445万1千円
その他	907万3千円



後期高齢者医療特別会計

2,633万6千円

これまでの老人保健制度に変わるもので、高齢化が進み、今後ますます医療費が増えていく中、将来にわたり高齢者のみなさんが、安心して医療を受け続けられるように創設された制度です。

歳入

保険料	1,300万6千円
一般会計からの繰入金	1,275万9千円
その他	57万1千円

歳出

広域連合納付金	2,241万1千円
その他	392万5千円



議会費 4, 107万円

(うち人件費: 3, 943万円)

【20年度決算額】

4, 123万円

- 議会だよりの発行 22万円
- 村議会議員(8人)への報酬・手当など 2, 696万円
9月議会には夜間議会もおこなわれています。



柏崎刈羽原発視察

総務費 3億6, 235万円

(うち人件費: 2億2, 016万円)

【20年度決算額】

4億3, 893万円

定額給付金の交付 3, 828万円
公共施設下水道接続工事 1, 595万円 など

広報広聴活動の推進

- 広報「さい」の発行 83万円

村有財産の管理

- 各地区集会施設の維持管理費 384万円
今年度からは、原田・矢越地区集会施設の維持管理について、指定管理者制度を導入します。

むらづくり基本条例関連事業

- 住民提案型支援事業補助金 200万円

住民自らが創意工夫し企画・実践するむらづくり事業を実施する団体などへ、一事業につき20万円を限度として事業費の一部を助成します。



原田地区住民による、原田腰掛八幡宮周辺の環境整備事業

交通対策

- 生活路線維持費補助金 116万円
下北交通(株)のむつ・佐井線、磯谷線の運行経費の赤字分に対して路線維持のための補助を行います。
- 過疎地有償運送事業運営補助金 242万円
ボランティア輸送事業の運営主体である社会福祉協議会へ事業運営費の補助を行います。

役場出張所の設置

- 牛滝出張所の運営費 13万円

交通安全対策

- カーブミラーの設置 6万円

コミュニティー活動の推進

- 行政連絡員・補助員への報酬 156万円
- 地区会・町内会への補助金 139万円
コミュニティー団体である地区会・町内会の各種活動に対する活動経費への助成を行います。

原子力発電の安全性に対する理解の推進

- 「さいのこよみ」印刷製本費 30万円
- 「広報さい」綴込ファイル作成費 45万円
- 福浦小中学生に対する施設見学会 26万円
- 一般住民先例地視察研修 155万円



行政の効率化、データの収集・管理

- 新総合行政情報システムの管理 4, 363万円
住民記録、村税賦課徴収の処理などを行います。
- 旧総合行政情報システムの管理 443万円
- 戸籍総合システムの管理 372万円
- 備品等管理システムの管理 18万円
- 住民基本台帳システムの管理 141万円

通信基盤の強化

- 地域情報通信基盤整備事業 4億6, 203万円
地域住民の生活利便性の向上及び地域経済の活性化を図るため村内全域に光ケーブル及び告知端末機を設置します。(平成21年度からの繰越事業)

村税の徴収率の向上

- 納税組合に対する報償金 101万円
村税の徴収率向上のため、各納税組合の徴収額などに応じて、報償金の支払を行います。
- 納税貯蓄組合連合会運営補助金 20万円
納税に関する理解の醸成及び会の活動経費に対する補助を行います。

選挙事業

- 参議員・県議員選挙が予定されています。 688万円

民生費

2億9,680万円
(うち人件費:3,550万円)

施設の管理運営

○社会福祉協議会運営補助金 809万円
法人運営のための事務的な経費に補助を行います。

○高齢者生活福祉センター委託 1,046万円
今年度より「あすなる」の管理運営については、指定管理者制度を導入します。

高齢者への福祉

○福祉活動専門員設置事業 388万円
専門員設置に係る社会福祉協議会へ補助します。

○ほのぼのコミュニティ21推進事業 508万円
事業に係る社会福祉協議会への人件費に対する補助を行います。

○老人クラブへの補助 49万円

障がい者への福祉

○障がい者の施設支援 3,534万円

○障がい者の在宅支援 260万円

○重度心身障がい者への医療費給付 565万円

青少年・児童への福祉

○児童福祉施設負担金 1,245万円
「はまゆり学園」への運営負担に要する費用です。

【20年度決算額】 3億6,203万円
ゆうなぎの里への補助金 4,000万円
保育所整備事業 2,352万円 など

○ひとり親家庭などへの医療費助成 120万円
○父子家庭などへの支援 156万円
○児童手当の支給 222万円

○子ども手当の支給 2,795万円
4月から子ども1人につき13,000円支給されます。

○保育所運営事業 4,221万円
今年度より保育所の運営については、指定管理者「吉幸会」へ移行します。



保育所運動会

○保育所バス購入事業 486万円
保育所バスが新しくなります。

衛生費

3億8,922万円
(うち人件費:2,887万円)

保健対策の充実

○患者輸送事業 980万円
大間病院及び川内病院までの交通手段を確保するため、患者送迎バスの運行委託を行います。

○各種予防接種の実施 513万円

○乳幼児健診事業 50万円

乳児から6歳児まで健康診査事業などを行います。



乳幼児健診

【子育て支援対策の強化】

○乳幼児はつらつ育成事業 215万円

○児童医療費給付事業 450万円
今年度から、中学生についても入院・通院ともに無料となります。

○妊婦委託健診事業 149万円

○各種健(検)診の実施 614万円

【20年度決算額】 3億4,381万円
ゴミやし尿などの処理施設運営費負担金や下水道特別会計への繰出金が増加しています。

環境保全・環境衛生への取り組み

○不法投棄廃棄物撤去事業 39万円
村内に不法投棄されたゴミを撤去します。

○側溝の清掃 52万円
側溝清掃後に散布する薬剤を全戸配布します。

○佐井村斎場の運営 437万円
佐井村斎場の維持運営を指定管理者に委託します。

ごみ・し尿の収集処理

○環境保全美化の推進 277万円
ごみの分別収集による指定ゴミ袋の製作、販売店への取扱委託を行います。

○ごみ収集・処理 1億1,223万円
一般ごみの収集運搬や共同で設置している塵芥処理施設の運営負担に要する費用です。

○不燃物処理施設の管理運営 690万円
不燃物処理施設の適正な管理を行います。

○し尿処理 4,512万円
共同で設置している汚泥再処理センターの運営負担に要する経費です。

農林水産業費 2億5,887万円
(うち人件費: 1,780万円)

【20年度決算額】 2億9,715万円
ここでは福浦及び牛滝漁港整備事業費の占める割合が大きなものとなっています。

農業の振興

○原田中山間地域等直接支払交付金 127万円

畜産の振興

○公共牧場管理委託 214万円

林業の振興

○森林整備地域活動支援事業 203万円

人工林の所有界の確認、区域界の刈り払いなどの作業、施業箇所までの既設の作業道の補修や歩道の新設を行います。

林業被害対策研修会



○菌床しいたけ栽培施設の管理 472万円

屋根の張替作業をします。



○有害鳥獣駆除対策 1,523万円

主にサルの追払いや、畑に電気柵を設置します。

水産業の振興

○大型クラゲ被害対策 27万円

大型クラゲによる漁網の被害を受けた漁業者の設備投資に伴う借入金に対して利子補給を行います。

○トド被害対策 22万円

トド被害対策強化網導入の設備投資に伴う借入金に対して利子補給を行います。

○水産振興事業補助金 2,866万円

漁協が行う水産振興事業に対する補助を行います。

○漁民の森づくり
活動推進事業
44万円

海は山からの恵みにより、育まれています。



水産基盤の整備

○福浦漁港の整備 1億5,405万円



福浦漁港船揚場の整備がはじまります。

○牛滝漁港整備負担金 1,600万円

県の事業費1億6千万円の1割負担分です。

商工費 3,541万円
(うち人件費: 390万円)

【20年度決算額】 3,866万円
プレミアム商品券発行事業 175万円
などがありました。

商工業の振興

○商工会育成補助金 199万円

主に人件費補助に要する費用です。

○夏まつりイベント補助(花火大会) 50万円

観光の振興

○観光協会への補助 207万円

主に臨時職員の人件費補助に要する費用です。

○福浦の歌舞伎食談義 133万円

○防波堤壁画事業 60万円

参加者を募集します。



平成17年度
佐井小児童

土木費

5, 809万円

(うち人件費：1, 254万円)

道路の管理・整備

- 村道福浦川目線整備事業 2, 728万円
用地購入・立木補償を行います。県代行工事としての最終工区に、いよいよ着工されます。

【平成21年度からの繰越事業】

- 村道糠森臨港舗装改良事業 2, 461万円



役場前交差点から漁協T字路までを再舗装します。

- 村道川磯線道路改良事業 1, 162万円



川目橋から磯谷方面に向かって側溝を改良します。

【20年度決算額】

3, 335万円

21年度から村道福浦川目線の最終工区着工に向け測量や設計及び用地購入に着手しました。

- 道路維持管理業務 288万円
村道の維持補修並びに併用林道の維持補修を行い、道路の維持管理に努めます。
- 除排雪対策 657万円

急傾斜地対策

- 磯谷区域急傾斜地対策事業負担金 200万円
磯谷区域の急傾斜地対策工事を継続します。



- 原田区域急傾斜地対策事業負担金 300万円

港湾の整備

- 仏ヶ浦港湾改修事業 625万円
県事業費5千万円の12.5%負担に要する費用です。離岸堤の整備を進めます。

住宅の管理

【平成21年度からの繰越事業】

- 下水道接続工事 500万円
村営住宅と下水道を接続します。

消防費

1億453万円

これとは別に、電源立地地域対策交付金を活用して、消防分署職員の人件費の一部9,000万円を負担しています

消防への負担金

- 広域事務組合常備消防へ 7, 250万円
市町村共同で行っている消防分署の費用負担。
- 広域事務組合非常備消防へ 1, 961万円
佐井村内の消防団のための費用を負担します。

初動体制の整備

- AED(半自動除細動機購入) 58万円
AEDを牛滝・福浦小中学校に配置します。

防災対策

- 防災訓練の実施 12万円

【20年度決算額】

4億1, 112万円

消防センター整備事業 3億1, 902万円
などがありました。

- 新県防災情報ネットワーク整備負担金 1, 010万円



春の防災パレード

教育費

1億3,532万円
(うち人件費:5,519万円)

教育・振興の充実

○高度へき地修学旅行費補助 38万円

学校教育・学校施設の充実

○スクールバスの運行 144万円

○外国語指導助手(ALT)の配置 566万円
管内の小中学校の総合学習等の時間を活用し、異文化交流や英語への親しみを持ってもらうため、ALTを配置します。

○学校活動支援事業 377万円
特別支援学級の介助や校外活動の支援、登下校時の安全指導などを行います。

○奨学資金の貸付 696万円
進学する学費負担の軽減を図るため、奨学資金の貸付を行います。現在の貸付金の原資は、これまでの奨学生の返還金によって賄われています。

○佐井中学校スクールバス購入 2,126万円

○教員住宅の改修事業 2,200万円

【平成21年度からの繰越事業】

教員住宅のトイレ水洗化工事を行います。

○各種大会派遣費の助成 149万円

小中学生の各種大会参加派遣費へ助成を行います。

【20年度決算額】 1億4,589万円

牛滝小中学校耐震補強工事 1,020万円
福浦小中学校塗装工事 823万円 など

社会教育の充実

○赤十字の里づくり推進事業 120万円

○放課後子どもプラン事業 134万円

放課後に小学校の空教室を活用し、地域住民の協力の下、子どもたちと一緒に勉強やスポーツなどの交流活動を行うため、放課後子ども教室を開設します。



公民館活動の充実

○成人式の開催 16万円

社会体育の振興

○スポーツ団体への補助 156万円

体育協会などへの補助金です。



諸支出金

3億3,270万円

下北医療センター支出金

○佐井診療所の不良債務解消 4,000万円
これまでの診療所の累積債務約2億3千万円の解消に、20年度から6年かけて取り組んでいます

○医療センターへの貸付金 2億2,500万円
医療センターの資金繰り経費の一部の貸付に要する経費です。



歯科検診

佐井村の台所事情～ 県内40市町村中のテータ・ランキング(20年度決算値) ～

村の台所事情をあらわす「財政指標」には、様々なものがありますが、代表的で比較的わかりやすいものを示しました。順位は県内の40市町村のうちで、佐井村がどの位置にあるかという目安を示したもので、優劣を比較するものではありません。

財政力指数 0.112 (39位/40市町村)

通常確保できると考えられる収入
標準的な仕事をするのに必要と見込まれる支出
(過去3年間の平均)

村の懐ぐあいを表すもので「1」を超える場合には、国からの援助(普通交付税といい、国の税金の一部を収入が不足する自治体に割り振るものです)がなくなります。また、数字が大きいほど余裕があることになります。

20年度順位	市町村名	指数	19年度順位
1	六ヶ所村	1.777	1
2	東通村	1.239	2
3	八戸市	0.680	3
4	青森市	0.583	4
5	三沢市	0.509	6
37	新郷村	0.143	37
38	風間浦村	0.118	38
39	佐井村	0.112	39
40	西目屋村	0.106	40
平均		0.361	

実質公債費比率 21.0 (32位/40市町村)

一般会計と特別会計などの公債費
(毎年返済しなければならない借入金の元金と利子)
経標準財政規模から普通交付税の需要額に
算入された元利償還金を差し引いた額

村の借金の返済額の財政負担の度合いを示すもので、率の低い方が財政負担が低いことになります。この比率が18%未満の自治体は起債の発行に関し協議団体として自由に発行できるのに対し、18%以上の自治体は許可団体として県の許可が必要となります。また、25%を超えると原則として起債の発行が制限されます。

20年度順位	市町村名	指数	19年度順位
1	六ヶ所村	5.1	1
2	野辺地町	11.1	3
3	弘前市	13.7	4
31	南部町	21.0	30
32	佐井村	21.0	33
33	田子町	21.5	36
38	五戸町	24.6	35
39	黒石市	24.9	37
40	西目屋村	24.9	40
平均		18.4	

経常収支比率 89.7 (8位/40市町村)

経常的経費(毎年欠かさず必要となる支出)
経常一般財源(使い道が限定されていない毎年繰り返し
入ってくるもの)+減税補てん債及び臨時財政対策債

人件費や公債費、扶助費(福祉施設の入所に伴う費用など)等、毎年必要になる支出で、容易に切り詰めることが難しいものの割合のことです。低い方がそれだけ余裕があり、新たなサービスをはじめたり、臨時の出費に対応できるということになります。

20年度順位	市町村名	指数	19年度順位
1	東通村	67.9	1
2	六ヶ所村	80.5	2
3	大鰐町	84.2	4
7	今別町	88.4	31
8	佐井村	89.7	28
9	八戸市	89.8	7
38	七戸町	99.6	23
39	外ヶ浜町	99.7	30
40	鱒ヶ沢町	104.6	37
平均		91.9	



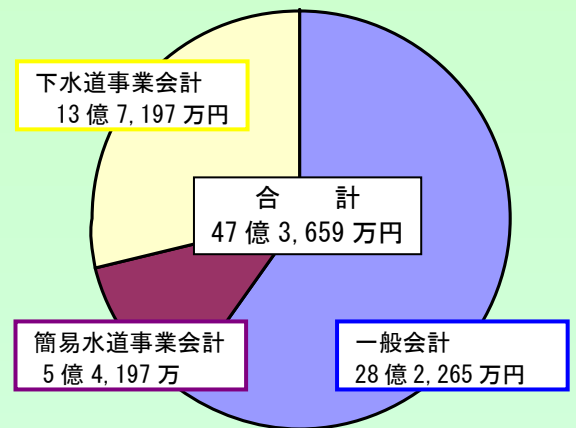
6歳児親子ふれあい教室

佐井村の借金状況は？

平成21年度末の見込みで、一般会計をはじめすべての会計を合わせて約48億円の借入れがあります。村民一人あたりでは約187万円になります。借入れの内訳は右図のとおりですが、実際は、これに利子を加えた金額を分割払い（10～30年間で、返済していくことになります）。

公共施設や下水道施設のように、建設にたくさんの費用がかかり、しかも、何十年も利用されるものは、もし借金をしないとすれば、当座の資金繰りが難しいだけでなく、建設する時代に生活している村民だけが大きな負担をすることになってしまいます。そこで、一般の住宅ローンと同じように借入れを利用し、毎年少しずつ返済していくことによって、将来にわたってその施設を利用する村民の負担を分かち合うようにしています。

借入金の内訳
(平成21年度末見込み)



貯金の状況は？

平成21年度末の見込みで、約9億円の貯金がありますが、このうち大半を占めるのが水産振興基金の約6億1千万円で、この基金は原則として元金の取り崩しができないものとなっています。財源の不均衡を調整できる財政調整基金は平成16年度より年々増加しつつあります。

これは地方交付税の削減が緩和されたことにもよりますが、「佐井村集中改革プラン」の着実な実行など、今までの行財政改革の取り組みに成果をあげてきている証拠です。

貯金の内訳
(平成21年度末見込み)

貯金の種類	金額
財政調整基金	1億5,028万円
村債管理基金	1億1,492万円
水産振興基金	6億1,311万円
その他の基金	2,410万円
計	9億2,411万円

— 22年度予算の特徴 —

今年度の予算は、子育て支援対策として、国の政策により子ども1人につき毎月1万3千円を支援するための経費や、村単独の支援策としても、乳幼児から中学生までの子どもの入院・通院を無料とするための経費が盛り込まれています。また保育所の管理運営について指定管理者制度を導入するなど、引き続き行財政改革をすすめていく内容になっています。国の経済対策による地元の景気対策としては平成21年度からの繰越事業ではありますが、ケビンハウスや森林体験館などの建物改修、さらには村道2路線の道路改良を実施するなど、地域経済の活性化にも取り組んでいきます。大きな事業としては、同じく繰越事業ではありますが、村内全域を光ケーブルでつなぎ村内の情報通信の格差を解消し、高齢者の方にも安心して確実な情報を提供するために、告知端末機を設置するなど地域の情報通信基盤の強化にも努めていきます。

以上が今年度、取り組んでいく施策の特徴ですが、「国の経済対策」関連ばかりが目立つ内容となっています。しかし、これは景気回復を促すためだけの一時的な補助でしかなく、事業への財源充当率が100%であるからこそ、自主財源の乏しい佐井村でも事業実施できるものであり、未来永劫続くわけではありません。

周りの景気に惑わされることなく、村の財政指標にしっかり目を向け、今日まで取り組んできた事務事業の見直しをはじめとしたあらゆる行財政改革の意識を忘れることなく、これまで以上に財政の健全化に努めていきます。



三上剛太郎生家前にて福浦小中学校生徒

佐井村集中改革プランの取組状況

～ 平成22年1月現在 ～

総務省は「地方公共団体における行政改革推進のための新たな指針」（平成17年3月29日）を示し、全国の地方自治体に対して、一層の行政改革の推進を図るため、行政改革大綱の見直し及び集中改革プランの策定・公表をすることとしました。これを受け、当村では佐井村行政改革大綱を基に、平成18年3月、「佐井村集中改革プラン」を策定しました。

ここでは、平成17年度を初年度とし、平成21年度の5年間を一区切りとして、これまで取り組んできた執行状況について公表いたします。

平成17～21年度までの取組効果額の総額は

8億4,537万円となります。

項目	実施事項	具体的内容	取組効果額 (実績見込)	実施 年度
事務事業の再編・整理・廃止・統合	収入の確保 に関わる取組	収納対策本部による税や奨学資金返還金などの徴収	3,096万円	17～ 現在
		保育料徴収基準の見直し	1,798万円	
		健康診査手数料の本人負担金徴収	477万円	
			未利用財産の売り払い	1,540万円
	組織・機構の再編 に関わる事項	議員定数の削減(12→8人)	4,068万円	19
		農業委員定数の削減(12→7人)	300万円	17
		収入役廃止 助役廃止	8,639万円	17
	給与など関連事項	議員報酬の10% 期末手当の5%削減	5,741万円	17
		特別職給料村長30% 助役など20%削減	2,091万円	17
		特別職期末手当 加算率無後、5%削減	822万円	17
		一般職員給料一律2%削減	2,150万円	17
		一般職員期末勤勉手当 加算率3%削減	4,965万円	17
		一般職員管理職手当凍結	793万円	17
		各委員報酬の見直し	232万円	17
	役場内管理経費 の節減・合理化	職員での実施による 業務委託料の削減	676万円	17
		旅費の改定	250万円	17
		村長車の廃止による 維持費の削減	400万円	17
	補助金・負担金 の見直し	村観光協会補助金の削減	1,965万円	17～ 現在
		村商工会補助金の削減		
		敬老会補助金の削減		
事務事業の見直し	ゴミの収集など委託の見直し (入札制へ)	1,078万円	17	
	役場清掃業務委託など の見直し(時間短縮)	3,661万円	17	
行政評価活用する 仕組みの導入	外部ヒアリング (事業仕分け)			20

項 目	実 施 事 項	具 体 的 内 容	取組効果額 (実績見込)	実施 年度	
民間委託などの推進	指定管理者制度 の 導 入	願 掛 公 園 ケ ビ ン ハ ウ ス (NPO 法人ゆいっこクラブ)	3, 677万円	18	
		森 林 体 験 館 ・ フ ォ ー レ ス ト パ ー ク (下北地方森林組合)		18	
		津 軽 海 峡 文 化 館 アル サ ス ・ し お さ い 公 園 (佐井定期観光(株))		18	
		斎 場 (株)サンアメニティ		19	
		保 育 所 (社)吉幸会	今年度実施	22	
		高 齢 者 生 活 福 祉 セ ン タ ー (社)佐井村社会福祉協議会	今年度実施	22	
	役 場 直 営 か ら 委 託 へ 移 行	福 浦 ・ 牛 滝 公 衆 ト イ レ	/	17	
		仏 ヶ 浦 駐 車 場 公 衆 ト イ レ		17	
		佐 井 ・ 長 後 漁 港 ト イ レ		17	
		不 燃 物 埋 立 最 終 処 分 場		17	
		磯 谷 ゲ ー ト ボ ー ル 場		17	
	民 間 譲 渡	旧 観 光 案 内 所		18	
	施 設 廃 止	ゴ ミ 焼 却 場		17	
	委 託 方 法 の 検 討	各 地 区 集 会 場 H 2 2 か ら 原 田 ・ 矢 越 は 指 定 管 理 者 制 度 導 入		19	
		福 浦 地 区 共 同 作 業 所		19	
		し いた け 集 出 荷 施 設		21	
定 員 管 理 ・ 給 与 の 適 正 化	行 政 の ス リ ム 化	①61人→②57人(△4人)		2億6, 837万円	17
第 三 セ ク タ ー の 見 直 し	統 廃 合 ・ 整 理 に 関 す る 計 画 の 策 定	/		—	
	村 監 査 委 員 に よ る 監 査 の 実 施			—	
	財 務 諸 表 な ど の 情 報 公 開			19	
	役 職 員 の 削 減			18	
	役 職 員 の 給 与 削 減			18	
そ の 他	小 中 学 校 統 廃 合 (原 田 ・ 磯 谷 ・ 長 後)	2, 845万円	18		
	簡 易 水 道 事 業 見 直 し	6, 319万円	17		
	下 水 道 事 業 見 直 し	117万円	17		

引き続き、村民と行政が一緒に知恵を出し合って行政改革に取り組んでまいります。